

19 調査研究 (4/24)

政務活動報告書

鳥取県議会議員 伊藤 保

調査年月日	平成 30 年 4 月 24 日		
調査先	島根県浜田市、大田市		
調査目的	鳥取県議会会派「民進党」島根県議会「民主県民クラブ」合同研修会		
旅費精算	交通費	飛行機(往復・片道)	円
		列車(往復・片道)	6,730 円
		バス・タクシー	円
		宿泊費(泊)	円
		資料代・参加費	円
		その他(駐車料金)	1,500 円
		合計	8,230 円
調査報告	<p>毎年相互に各県の課題を抱えている問題や先進的な取り組みについて、合同で調査しているが、今年は、島根県において2日間の予定で調査を行った。</p> <p>私は、2日目は、慰霊祭があり、初日だけ帯同した。</p> <p>はじめに旧旭村、現浜田市に平成20年にオープンしたあさひ社会復帰センターを訪問した。旧旭村時代に工業団地として造成されたが、誘致企業がなく、刑務所として、官民共同の新たな社会復帰センターとして誘致、現在1386人の受刑者、国職員が188人、民間343人が働いており、近代的な施設を見学、実態について意見交換会を行った。次に2007年に世界遺産に登録された、石見銀山遺跡の現地調査を行い、文化的な価値、保存の課題等について説明を受けた。帰りに大田駅前でお話を聞くと、登録後3年間は多くの人で賑わいを見せたが、現在は閑散としてきたとのことであり、今後の課題も浮き彫りになった。また、太田市内は、先月襲った地震で民家や商店街の被害が激しく、復旧が待たれていた。</p>		
関連領収書番号	A、B、C、173		

鳥取県議会「会派民進党」と島根県議会「民主県民クラブ」
との合同研修会 実施要領

1. 目的

両県における諸課題について、現地事例等の調査や会派間の情報交換を通じ、施策提言や会派活動に資する。

2. 期日

平成30年4月24日(火)～25日(水)

3. 調査先、調査内容

(1) 島根あさひ社会復帰促進センター

日時：4月24日(火) 10:45～12:15

場所：島根県浜田市旭町丸原380-15

内容：官民協働の運営状況について

(2) 世界遺産 石見銀山

日時：4月24日(火) 14:15～15:45

場所：島根県大田市大森町

内容：大森の街並みの見学

(3) 仁寿会 加藤病院

日時：4月25日(水) 9:45～11:15

場所：島根県邑智郡川本町383-1

内容：地域包括ケアシステムの構築状況について

(4) 飯南町立 飯南病院

日時：4月25日(水) 13:30～15:00

場所：島根県飯石郡飯南町頓原2060

内容：地域包括ケアシステムの構築状況について

4. 参加者

鳥取県議会「会派民進党」 6名

島根県議会「民主県民クラブ」 7名

議会事務局 1名

5. 行程

別紙行程表のとおり

鳥取県議会「会派民進党」と鳥根県議会「民主県民クラブ」との合同研修会

行 程

月日	時間及び調査先	備 考
4月24日 (火)	7:04 鳥取駅発	特急スーパーまつかぜ1号
	↓	7:33倉吉駅発
	↓	8:11米子駅発、8:19安来駅発
	↓	8:35松江駅発、9:56江津駅発
	10:14 浜田駅着	(益田9:22発→浜田10:03着)
	10:20 浜田駅前 出発	貸切バス
	↓	
	10:45 調査①あさひ社会復帰促進センター着	浜田市旭町丸原380-5
	12:15 調査①出発	
	↓	
	13:20 昼食会場着 (お食事処 おおもり)	大田市大森町ハ44-1
14:10 昼食会場発		
↓		
14:15 調査②石見銀山	大田市大森町	
15:45 調査②出発	大森町の街並み見学	
↓		
17:00 宿泊先着 (浜田ワシントンホテル)	浜田市黒川町4177	
4月25日 (水)	8:25 ホテルロビー集合	
	8:30 ホテル発 (貸切バス)	
	↓	
	9:45 調査③仁寿会 加藤病院着	邑智郡川本町383-1
	11:15 調査③出発	
	↓	
	11:30 昼食会場着 (新栄寿し)	邑智郡川本町川本本町613-2
	12:20 昼食会場発	
	↓	
	13:30 調査④飯南病院	雲南市飯南町頓原2060
	15:00 調査④発	
↓		
16:00 松江駅着		
16:37 松江駅発 (益田方面スーパーまつかぜ7号)	18:07江津着、18:22浜田着、19:02益田着	
16:45 松江駅発 (鳥取方面スーパーおき4号)	17:00安来着、17:08米子着、17:41倉吉着	
	18:16鳥取着	

鳥取県議会「会派民進党」と島根県議会「民主県民クラブ」との合同研修会
参加者名簿

平成30年4月24日～4月25日

所属	役職	氏名	備考
鳥取県議会 「会派民進党」	副議長	福間 裕隆	
	会長	浜田 妙子	
	副会長	伊藤 保*	24日石見銀山まで*
	幹事長	興治 英夫	25日のみ
	政策調査会長	森 雅幹	
	総務会長	坂野経三郎	24日石見銀山のみ (自家用車)
島根県議会 「民主県民クラブ」	会長	須山 隆	25日加藤病院まで
	幹事長	白石 恵子	
	副幹事長	平谷 昭	24日のみ
	政策調査会長	角 智子	24日石見銀山まで
	政策調査副会長	岩田 浩岳	
		藤原 常義	
	山本 誉	25日のみ	
島根県議会 事務局	政務調査課 企画幹	佐々木祥子	
合計		14名	

22

調査研究費

(4/27)

政務活動報告書

鳥取県議会議員 伊藤 保

調査年月日	平成 30 年 4 月 27 日		
調査先	東京都 全国町村会館		
調査目的	合区の早期解消促進大会		
旅費精算	交	飛行機(往復・片道)	52,980 円
	通	列車(往復・片道)	円
	費	バス・タクシー	円
		宿泊費(泊)	円
		資料代・参加費	円
		その他	円
		合計	52,980 円
調査報告	<p>地方自治確立対策協議会の主催で開催された合区の早期解消促進大会に出席。合区解消の必要性について全国町村議会議長会をはじめ全国知事会等 6 団体の代表が、それぞれの立場で意見表明。次期参議院選挙において再び合区で選挙が行われぬよう、都道府県単位で代表が国政に損化できる選挙制度とすることを強く求める大会アピールを採択した。</p> <p>その後、各政党の代表者から、合区解消についての考え方、取り組みを聞いた。</p> <p>我が県議会としても、合区解消を求める意見書を送付しているが、各政党の考え方等、参加者全員で共有でき、意義ある大会であった。</p>		
関連領収書番号	A		

各区の早期解消促進大会

と き：平成30年4月27日（金）

ところ：全 国 町 村 会 館

（2階ホール）

地方自治確立対策協議会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目6-3 TEL 03(5212)9206（直通）

全 国 知 事 会
全 国 市 長 会
全 国 町 村 会

全国都道府県議会議長会
全国市議会議長会
全国町村議会議長会

合区の早期解消促進大会

平成30年4月27日(金) 11:00～
全国町村会館 2階ホール

次 第

- 1 開 会 *7/28 経野 精一*
- 2 開 会 挨 拶
全国町村会会長 *近藤 豊彦*
- 3 合区解消に関する発言
全国町村議会議長会 *若林 一夫*
全国町村会 *宮本 忠雄*
全国市議会議長会 *松江 幸雄*
全国市長会 *赤松 邦彦*
全国都道府県議会議長会 *石屋 富太郎*
全国知事会 *辻野 英知*
- 4 大会アピール
全国町村議会議長会会長 *若林 一夫*
- 5 来 賓 挨 拶
自由民主党 *橋本 聖子*
公明党 *山本 太郎*
立憲民主党 *森山 浩之*
希望の党 *奥野 寛太郎*
民進党 *足立 徹*
日本共産党 *井上 元*
日本維新の会 *室井 康*
沖縄の風
- 6 ま と め の 言 葉
全国市長会会長 *松浦 三三*
924 〃 〃 〃 1788
- 7 閉 会

合区の早期解消促進大会

— 大会アピール —

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年7月に憲政史上初の合区による選挙が実施された。

その結果、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなどの合区を起因とした弊害が顕在化した。

我が国が直面する急激な人口減少問題をはじめ、この国のあり方を考えていく上でも、多様な地方の意見が、国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなることは非常に問題で、地方創生にも逆行するものである。

本日、我々はここに、次期参議院選挙において合区による選挙が再び行われることのないよう、早急に合区を解消し、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とすることを強く求める。

平成30年4月27日

地方自治確立対策協議会（地方六団体）

5/ 誠實研究員 (7/23)

活動報告書

鳥取県議会議員 伊藤 保

年月日	平成30年7月22日 ~ 7月23日	
出張先	東京都千代田区霞が関 霞が関ビル35階	
出張目的	森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟役員会及び総会出席のため	
旅費精算	交通費	飛行機 (往復・片道) 65,380円
		列車 (往復・片道) 1,430円
		タクシー 1,050円
		宿泊費 (1泊) 9,750円
		視察お土産代 円
		高速道路通行料 円
		自動車燃料費 円
		合計 77,610円
出張報告	<p>7月23日霞が関ビル35階で開催された平成30年度森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟役員会及び総会に出席した。午前中開催された役員会には、内田会長の代わりに出席し、午後開催される総会資料の確認と進行について協議が行われた。西日本豪雨による災害対応について政府への要望が必要との声上がり、提案されることとなった。午後の総会は、別添資料の通り、原案可決され、「7月豪雨災害からの早期復旧等に向けた緊急要望」を可決し政府に要望することになった。終了後、「新たな森林管理システムと森林環境を全税について」林野庁森林整備部計画課長 小坂善太郎氏から講演を聞いた。</p>	
関連書類番号	A. B. C. D. E. F. G	

7/23

No.5/10 資料

平成30年6月4日

「林活地方議連」全国連絡会議

役員 各位

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議

会長 谷 洋一

「林活地方議連」平成30年度第2回役員会の開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1 日時：平成30年7月23日（月）10時30分～13時

2 場所：東海大学校友会館「三保・霞の間」

〒100-6035 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階

TEL:03-3581-0121

3 議題：

1 平成30年度定時総会提出議案等について

2 その他

※役員会出席者氏名を、別紙により7月2日（金）までに、E-mail 又はFAXにて、ご連絡ください。

※当日は、昼食の準備をしております。

※今回の役員会は、総会と同一日の開催のため、全国連絡会議としては、交通費を支給いたしませんので、ご承知おき下さい。

林活地方議連事務局
（一社）日本林業協会

TEL：03-3586-8430

FAX：03-3586-8434

林活地方議連全国連絡会議

平成30年度第2回役員会出席者名簿

(平成30年7月23日)

役職	議員	道県	随行者
会長	谷 洋一	和歌山県	農林水産部林業振興課課長補佐 原 賢一郎
			議会事務局政策調査課総括調査員 尾崎 善亮
			議会事務局政策調査課副主査 津村 芳秀
副会長	川口 一	秋田県	議会事務局総務課副主幹 奥山 仁
	毛利 修三	愛媛県	
幹事長	(代)中本浩精	和歌山県	
幹事	竹内 英順	北海道	水産林務部総務課主幹 赤澤 大佐
	小野 峯生	新潟県	
	早川 捷也	岐阜県	議会事務局議事調査課主査 高口 好美
	青野 高陽	岡山県	
	(代)瀬戸口三郎	鹿児島県	
監事	関根 罔男	群馬県	議会事務局政策広報課課長 内田 善規
			議会事務局政策広報課主幹 山口刀志彦
	(代)伊藤 保	鳥取県	
オブザーバー	石田 寛	秋田県	

19
1

<林野庁>

林野庁林政部長

林野庁企画課課長補佐(総務班)

林野庁計画課課長補佐(総括)

林野庁計画課課長補佐(企画班)

林野庁経営企画課課長補佐(総括)

渡邊 毅
徳留 善幸
石田 良行
永井 壯茂
赤羽 元

5

<中央懇談会>

(一社)日本林業協会

会長

前田 直登

全国森林組合連合会

常務理事

飛山 龍一

(一社)全国木材組合連合会

副会長

島田 泰助

(一財)日本森林林業振興会

常務理事

田中 謙司

(一社)日本治山治水協会

総務部長

竹花 祐治

(一社)日本林業土木連合協会

専務理事

菊池 博輝

全国林野関連労働組合

副中央執行委員長

中村 恭士

全国林野関連労働組合

書記長

水田 勇司

8

<事務局>

(一社)日本林業協会

事務局長

篠原 宏

石原 真弓

米望 孝男

前田 和子

鈴木 正人

5

平成30年6月4日

道府県「林活議連」

会長 各位

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟

全国連絡会議 会長 谷 洋



林活地方議連全国連絡会議平成30年度定時総会について

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議（林活地方議連）の平成30年度定時総会を下記により開催いたしますので、ご多忙中のところ恐縮に存じますが、多数のご参加をお願いいたしたくご案内申し上げます。

記

1 日時：平成30年7月23日（月）13時30分～16時

2 場所：東海大学校友会館「阿蘇の間」

〒100-6035 東京都千代田区畿が関3-2-5 畿が関ビル35階

(TEL:03-3581-0121)

<アクセス>

<http://www.kasumigaseki36.com/access/index.html>

3 参加人員：総会出席者氏名を、別紙により7月2日（月）までに、

E-mail又は別紙によりFAXにてご連絡下さい。

定時総会当日のスケジュール

第2回役員会	10:30～13:00（役員道県のみ）
定時総会	13:30～14:30
講演	14:40～（1時間程度）
終了後、役員等による要請活動を予定	

林活地方議連全国連絡会議事務局

（一社）日本林業協会内

TEL:03-3586-8430 FAX:03-3586-8434

E-mail:jfa@j-forestry.or.jp

森林・林業・木材産業の活性化と豊かな山村の再生を目指して

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟

平成30年度

全国連絡会議定時総会

平成30年7月23日(月)

東京都千代田区霞が関3-2-5

「阿蘇の間」

(東海大学校友会館・霞が関ビル35階)

処分の中で提案、客観、可決、可決

平成30年7月豪雨災害からの早期復旧等に向けた緊急要望

近年、全国各地で集中豪雨や地震等が頻発し、甚大な山地災害が発生していることから、地域住民の安全で安心できる豊かな生活の実現に向けて、「緑の国土強靱化」の強力な推進が喫緊の課題となっています。

また、今般の平成30年7月豪雨は、西日本の広範囲において、これまで観測したことのない異常な降雨により、大規模な山腹崩壊等に伴う山地災害が多数発生するとともに、木材加工流通施設や特用林産振興施設等が大きな被害をうけるなど、住民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

このため、治山事業をはじめとする林野公共事業等により、荒廃山地や被災した林道の速やかな復旧や今後の災害発生を予防し、林業・木材産業の早期の復旧を図るため、以下の対策を要望します。

- 1 今般の豪雨災害で生じた荒廃山地や被災林道等が早期に復旧されるよう、十分な財政措置を講じること
- 2 昨年の九州北部豪雨に引き続き、集中豪雨が頻発していることを踏まえ、集中豪雨による山地災害の事前防災・減災や災害に強い森づくりに向けた治山事業予算と森林整備事業予算を措置し、速やかに対策を開始すること
- 3 大規模な山腹崩壊等に伴う流木災害のリスクがこれまで以上に高まっていることから、昨年度林野庁が公表した「流木災害防止緊急治山対策プロジェクト」を加速化させるとともに、緊急に対策が必要とされた地区以外での流木対策にも取り組むこと
- 4 被災した木材加工流通施設、特用林産振興施設等の撤去・復旧・整備に対する支援に向け、十分な財政措置を講じること

平成30年7月23日

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟

活動報告書

鳥取県議会議員 伊藤

年月日	平成 30 年 8 月 19 日 ~ 平成 30 年 8 月 20 日		
出張先	広島県東広島市黒瀬町		
出張目的	7月8日西日本豪雨により決壊した三連ため池の現地調査のため		
旅費精算	交通費	飛行機 (往復・片道)	円
		列車 (往復・片道)	円
		バス・タクシー	円
	宿泊費 (1 泊)		5,620円
	参加費		円
	高速道路通行料		7,030円
	自動車燃料費		8,094円
	合計		20,744円
出張報告	<p>今年も梅雨前線が西日本に停滞。7月6日から8日にかけて西日本の1府10県に大雨特別警報が発表される中、岡山、広島県では甚大な災害が発生した。私は、これまで県議会の中で、ため池の防災対策について議論してきた経過もあり、8月20日、土石流が流入し次々と決壊した広島県東広島市の三連ため池を現地調査した。温暖な気候で、400年にわたり壊れたことがないため池が、無残な姿に。現地調査で得た情報を分析し、県内のため池防災に生かして行きたい。早速、9月定例議会で質問の予定である。</p>		
関連書類番号	A、B、C、D、E、F		

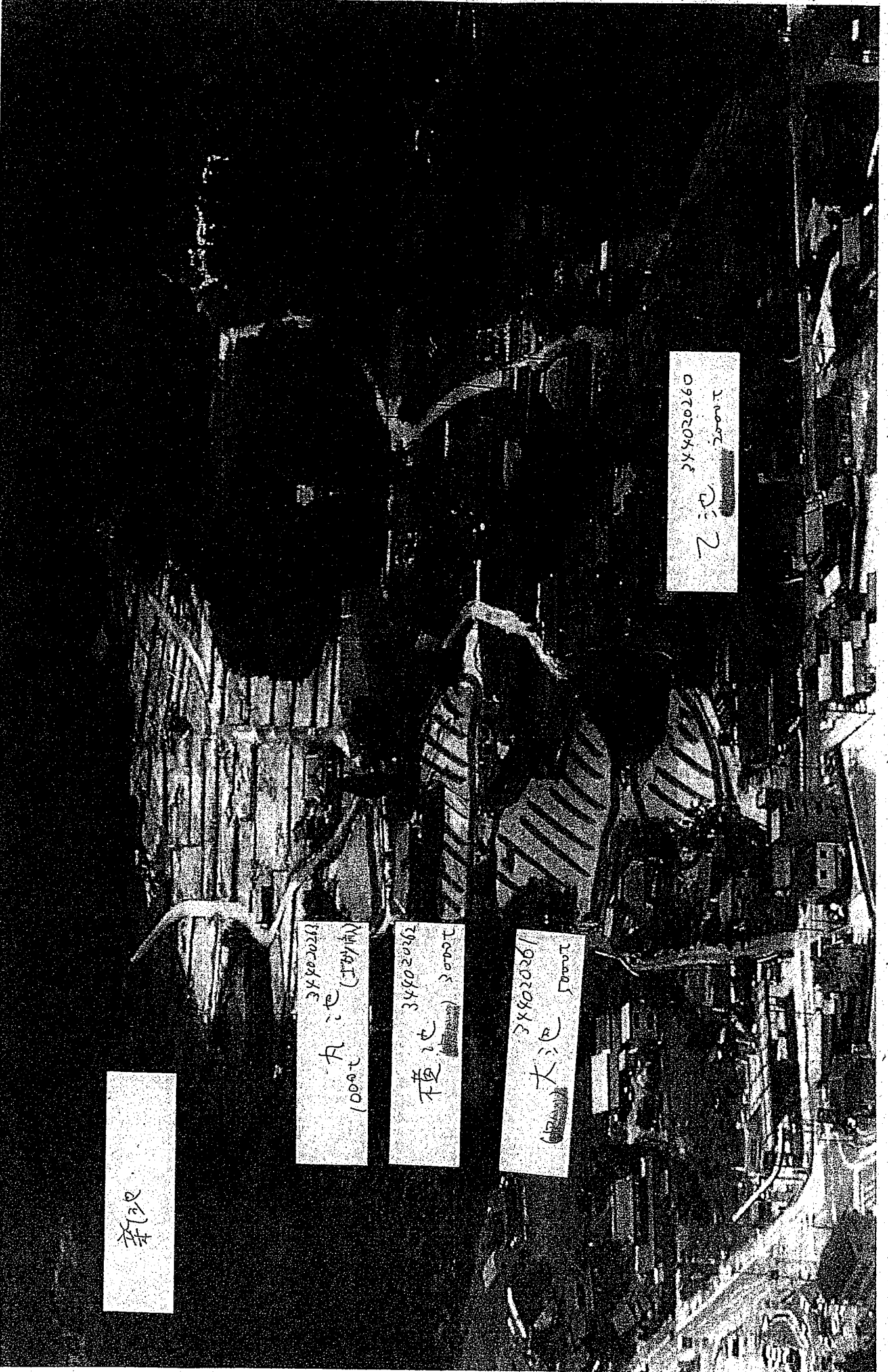
新設

34802021
丸池 (100m)
100m

34802022
横池 (300m)
300m

34802026
大池 (500m)
500m

2池
34802026
500m



乙池，大池，横池の位置図及び被災状況写真



巨河川の管理
者から聞き取り



No. 6 の資料

決壊した堤



もう少くも
民家にも被害



67 誠實研究費 (8/27)

活動報告書

鳥取県議会議員 伊藤 保

年月日	平成30年8月27日		
出張先	岡山県津山市 湯郷グランドホテル		
出張目的	平成30年度「鳥取・岡山県境議員連盟」総会、研修会		
旅費精算	交通費	飛行機 (往復・片道)	円
		列車 (往復・片道)	円
		バス・タクシー	円
	宿泊費 (泊)	円	
	参加費	円	
	高速道路料金	2,980円	
	燃料費	円	
	合計	2,980円	
出張報告	<p>湯郷グランドホテルで開催された平成30年度「鳥取・岡山県境議員連盟」総会、研修会に出席。冒頭の総会では、私が進行と29年度事業報告及び収支決算、30年度事業報告及び収支予算について提案し、審議の結果、原案通り可決された。総会終了後、意見交換会として、「小さな拠点づくり」の課題・現状について、鳥取県元気づくり総本部とっとり暮らし支援課長 斎尾安広氏と岡山県県民生活部中山間地域振興課長 池田義和氏から説明を受けた。また、「交通弱者対策」の現状・課題について、鳥取県地域振興部交通政策課長 矢吹隆氏と岡山県県民生活部県民生活交通課長 万代洋士氏から取り組みの説明を受けた。その後、真備町での災害、姫鳥線の複線化等について議論した。</p>		
関連収者番号	A. B. 178		

平成30年度「鳥取・岡山県境議員連盟」総会 次第

日時：平成30年8月27日（月）

15:00～16:45

場所：湯郷グランドホテル 鳳凰の間

1 開 会 北条市村幹事

2 会長あいさつ 井元 会長

3 議 事
(1) 平成29年度事業報告及び収支決算について
(2) 平成30年度事業計画及び収支予算について
(3) その他
全体説明

4 意見交換会
(1) 「小さな拠点づくり」の課題・現状について
[説明]
・鳥取県 元気づくり総本部 とっとり暮らし支援課 課長 齋尾安広
・岡山県 県民生活部 中山間・地域振興課 課長 池田義和

(2) 「交通弱者対策」の現状・課題について
[説明]
・鳥取県 地域振興部 交通政策課 課長 矢吹 隆
・岡山県 県民生活部 県民生活交通課 課長 万代洋士

5 その他 岡山県真備町の災害と救助について(宮取)

6 副会長あいさつ ① 「姫島線」利用者が急増。しかし、冬期の積雪
時、といておくれなところから、道路整備の
核線化を両県で強く要望しているところ。

7 閉 会
池田副会長
② トーエム(合)が投資があり、お題なし

H30 鳥取・岡山県境議員連盟 総会・意見交換会 出席者名簿

■ 会員

県名	選挙区	議員氏名	役職	懇談会
鳥取県	鳥取市	まえた やすひこ 前田 八壽彦		
		ふけま たかひろ 福浜 隆宏		懇談会欠席
	八頭郡	にしかわ のりお 西川 憲雄		
	倉吉市	はせがわ みのる 長谷川 稔		懇談会欠席
	東伯郡	いとう たもつ 伊藤 保	幹事	
		ふじい かずひろ 藤井 一博		
日野郡	うちだ ひろみち 内田 博長	副会長		
岡山県	津山市・苫田郡・ 勝田郡	いもと けんいちろう 井元 乾一郎	会長	
		わたなべ としゆき 渡辺 吉幸		
		やまもと まさひこ 山本 雅彦		
		はなぶさ ひさし 花房 尚		懇談会欠席
	新見市	こばやし よしあき 小林 義明	会計監事	懇談会欠席
	真庭市・真庭郡	こうの けいじ 河野 慶治		
	美作市・英田郡	いちむら じん 市村 仁	幹事	

■ 執行部

県名	所属	職名	氏名
鳥取県	元気づくり総本部 とっとり暮らし支援課	課長	さいお やすひろ 齋尾 安広
	地域振興部 交通政策課	課長	やぶま たかし 矢吹 隆
	地域振興部 交通政策課	課長補佐	かめたに まさとし 亀谷 雅俊
岡山県	県民生活部 県民生活交通課	課長	まんだい ひろし 万代 洋士
	県民生活部 中山間・地域振興課	課長	いけだ りんじ 池田 義和

■ 事務局

県名	所属	職名	氏名
鳥取県	議会事務局 調査課	課長補佐	おさき まさたか 尾崎 正高
岡山県	議会事務局 政務調査室	室長代理	こよし まさのり 古好 正徳
		政務調査主幹	ばば しゅんいち 馬場 俊一

75

調査研究費

(9/13)

活動報告書

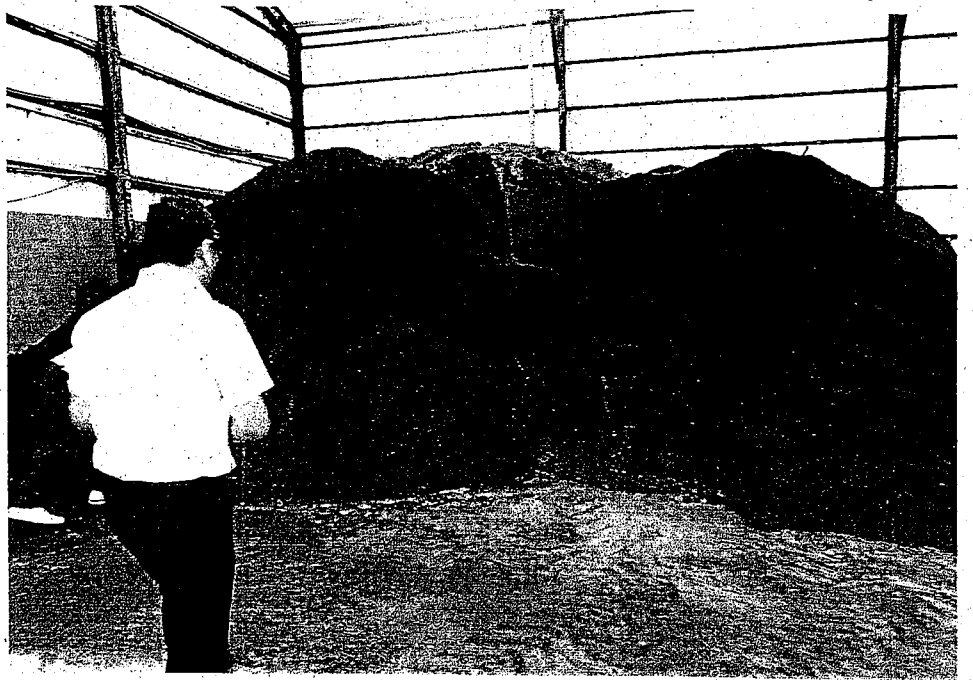
鳥取県議会議員 伊藤 保

年月日	平成 30 年 9 月 13 日		
出張先	香川県三豊市詫間町		
出張目的	炭化鶏糞を牛舎の敷料として活用している有効性の調査		
旅費精算	交通費	飛行機 (往復・片道)	円
		列車 (往復・片道)	円
		バス・タクシー	円
	宿泊費 (泊)		円
	視察お土産代		3,300円
	高速道路通行料		13,740円
	自動車燃料費		2,540円
	合計		19,580円
出張報告	<p>畜産農家が、牛舎の敷料にしているおが粉が品薄になる中、香川県で鶏糞を炭化して、活用している情報を入手したため、活用の現地調査を無理にお願い申し上げ受けていただいた。牛舎は海に面した工業団地の一角にあり、元木材倉庫を改修して1000頭の肥育が行われていた。案内をしていただいた川口氏によれば、3対1の割合で炭化鶏糞をおが粉に混ぜ活用しているとのこと。炭の効果で悪臭が少なく、皮膚病も減ったとのこと。また、牛舎の蠅も少なく、近隣の工場からのクレームもないとのこと。また、たい肥は、土壌改良剤として販売しているとのこと。鳥取県でも、鶏糞を炭化することで活用したらと思いを強くし、議会の質問で取り上げることにした。防疫が厳しい中、無理を聞いていただき視察できた。</p>		
肉産卵報告 番号	A、B、C、D、E		

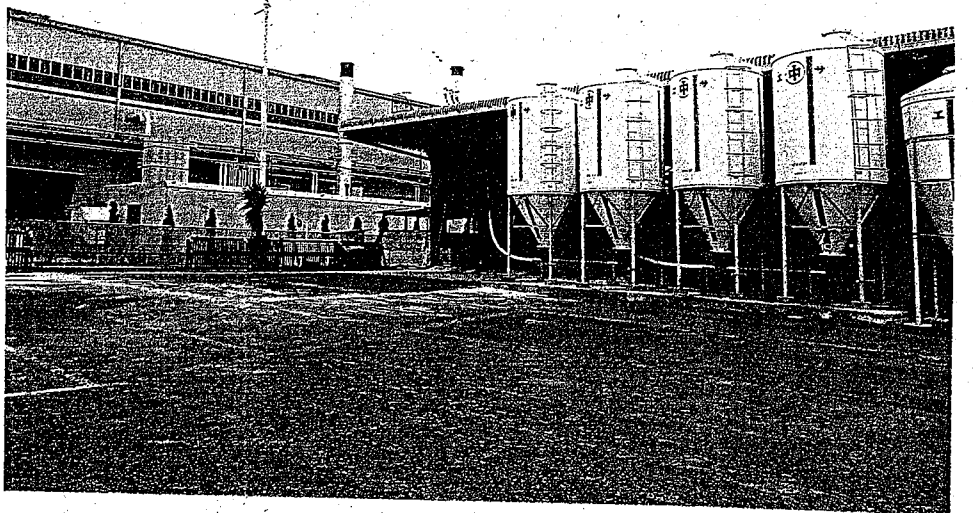
おがしとブレンド
キメた山灰は鶏ふん



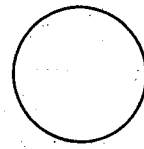
山灰に
した鶏ふん



工業団地の一角に午合



活動報告書



173の資料
調査所宛(6/22)

鳥取県議会議員 伊藤 保

年月日	平成 30 年 6 月 22 日(金)		
出張先	島根県松江市鹿島町 島根原子力発電所		
出張目的	島根原子力発電所3号機に係る現地調査のため		
旅費精算	交通費	飛行機 (往復・片道)	円
		列車 (往復・片道)	円
		タクシー	円
	宿泊費 (泊)	円	
	視察お土産代	円	
	高速道路通行料	円	
	自動車燃料費	円	
	合計	0円	
出張報告	<p>原子炉等規制法の改正に伴う島根原子力発電所3号機の新規制基準への適合性審査申請について、県としての判断が求められる中、議会での方向性について示すことが求められる中、会派として、事前に現地調査し、安全対策等について現状を勉強することとなった。6月22日当日は、午後1時45分から現地事務所で、岩崎電源事業本部(原子力管理)担当部長から挨拶と島根原子力発電所に関する津波防災、非常時における電源確保等新たな安全対策について概要説明を受けた後、全員が3号機内の原子炉内のベント等の安全対策、防水扉、防潮堤、さらには、高いところに作られた非常時電源施設、発電車を視察し、詳細な説明を受けた。安全神話が崩壊した原子力発電の在り方について、参考となる現地調査であり、今後の全員協議会の議論に生かしていきたい。</p>		
伝達領収書番号	173		

平成30年6月7日

会派民主各議員 様

会派民主

会長 浜田 妙子

島根原子力発電所3号機に係る現地調査の開催について

島根原子力発電所3号機に係る現地調査を下記日程で開催しますので、御出席ください。

記

- 1 日 時 平成30年6月22日（金） 午後1時45分から
午後3時45分まで
- 2 場 所 島根原子力発電所（島根県松江市鹿島町片句654-1）
- 3 内 容
（1）島根原子力発電所3号機の安全対策等